

目 次

提言の要旨	1
はじめに	2
第1章 総合計画と行政評価の現状と課題	2
1 総合計画と行政評価の意義	2
2 アンケート結果の分析	3
3 アンケートから見える課題	4
第2章 成田市の取り組み事例	4
1 従前の取り組みと課題の整理	5
2 「成田市新マネジメントサイクル」の構築について	5
(1) 「成田市新マネジメントサイクル」の骨子	5
(2) 実施計画の改善	5
(3) 行政評価の改善	7
(4) 新たなPDCAサイクルの構築	8
第3章 新たな行政経営システムの提言に向けて	9
1 成田市システムの課題とその解決策	9
(1) 課題について	9
(2) 課題解決に向けての対応策	9
ア 「財源配分方式」の導入～財源の確保～	9
イ 作業コストの軽減	10
2 「三位一体型行政経営システム」の提言	11
第4章 自治体ごとの現状に即した対応	12
おわりに	14

提言の要旨

行政経営システムの構築について

～総合計画・行政評価・予算編成が連携機能する「三位一体型行政経営システム」への取り組み～

背景・現状

- ◇ 地方自治体を取り巻く厳しい社会経済状況のもとで、経費の無駄を省き、限りある財源を効率よく配分し、市民満足度の高い行政サービスを提供することが求められている。
 - ◇ そのためには、総合計画・行政評価・予算編成が一体となって連携機能することが必要とされているが、現状は？
 - ◇ 多くの自治体で行政評価がうまく活用できていない。実施計画と予算編成との連携も乏しい。何故？
- ↓
- 担当部署間の連携が円滑にっていない。
 - 行政評価では財源面の考慮がなく、評価結果の予算編成への反映が困難 等々。

成田市の取り組みと課題

(骨子)

- ◇ 財源が担保された実施計画の策定と実効性のある計画とするための毎年のローリング作業及びそれを指針とした予算編成
- ◇ 経営層による集権化と財源を意識した経営判断
- ◇ 行政評価の結果が実施計画や予算編成に的確に反映される仕組みづくり

(課題)

- 作業コストの増大 ■ 新規・拡大事業に対する財源確保が困難

課題解決に向けて

- ◇ ローリング作業への「財源配分方式」の導入 ◇ 画一的な見直し基準の策定

提言 「三位一体型行政経営システム」の構築

- 【総合計画・行政評価・予算編成が一体的に連携機能する行政経営システム】
- I 全事業積み上げ方式による実施計画の策定と各種財政指標の推計
- II 行政評価と一体的に実施する「財源配分方式」による実施計画のローリング作業と各種財政指標の見直し
- III 策定したローリング内容を指針とし、ローリング前後の財政指標のギャップ分析結果を反映した予算編成

自治体の置かれている現状に即した対応を！